

Asset Management

HSBC インド・インフラ 株式オープン

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第13期 (決算日2022年6月17日)

作成対象期間

(2021年6月18日～2022年6月17日)

第13期末(2022年6月17日)	
基準価額	9,630円
純資産総額	6,318百万円
第13期	
騰落率	17.2%
分配金(税込み)合計	60円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC インド・インフラ株式オープン」は2022年6月17日に第13期の決算を行いました。

当ファンドは、「HSBC インド・インフラ株式マザーファンド」への投資を通じて、主にインド共和国(以下、「インド」といいます。)のインフラに関連する株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

◀お問い合わせ先(投信営業本部)▶

電話番号: 03-3548-5690

(営業日の午前9時～午後5時)

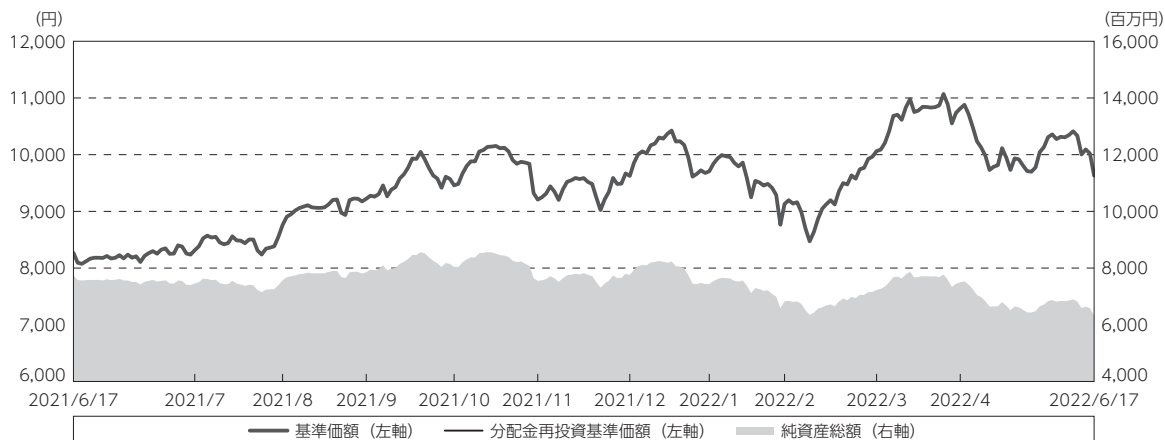
ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.co.jp



◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第13期：2021年6月18日～2022年6月17日)



期 首：8,269円

期 末：9,630円 (既払分配金(税込み)：60円)

騰落率：17.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年6月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入上位に維持した資本財業界で建設エンジニアリング大手のラーセン・アンド・トゥブロ、資本財業界で金属製品メーカーのKEI インダストリーズ、エネルギーのリライアンス・インダストリーズなどの株価が上昇したことが、基準価額にプラスに働きました。また、インドルピーが対円で上昇し、基準価額にプラスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	165	1.760	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(86)	(0.913)	委託した資金の運用の対価(運用委託先への報酬が含まれます。)
(販 売 会 社)	(72)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.077)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	17	0.181	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(17)	(0.181)	
(c) そ の 他 費 用	127	1.359	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(16)	(0.170)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(110)	(1.183)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	309	3.300	
期中の平均基準価額は、9,376円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

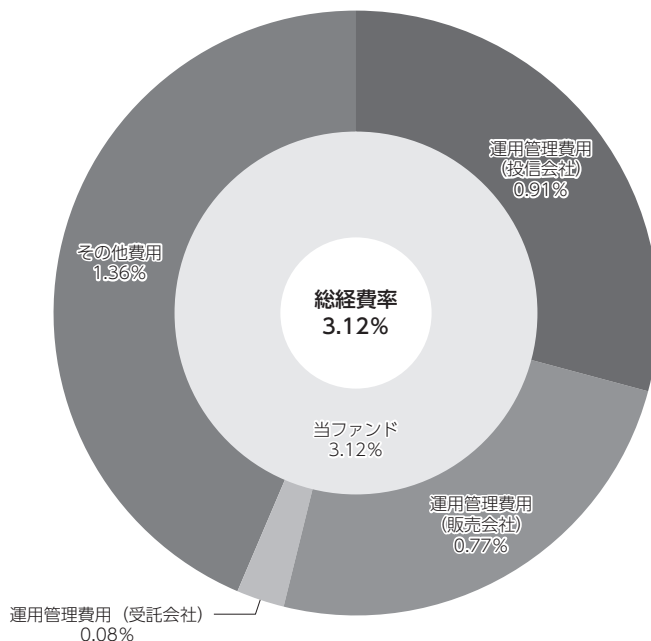
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 「(c) その他費用」の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益にかかるキャピタル・ゲイン課税(1万口当たり109円)を含みます。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.12%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

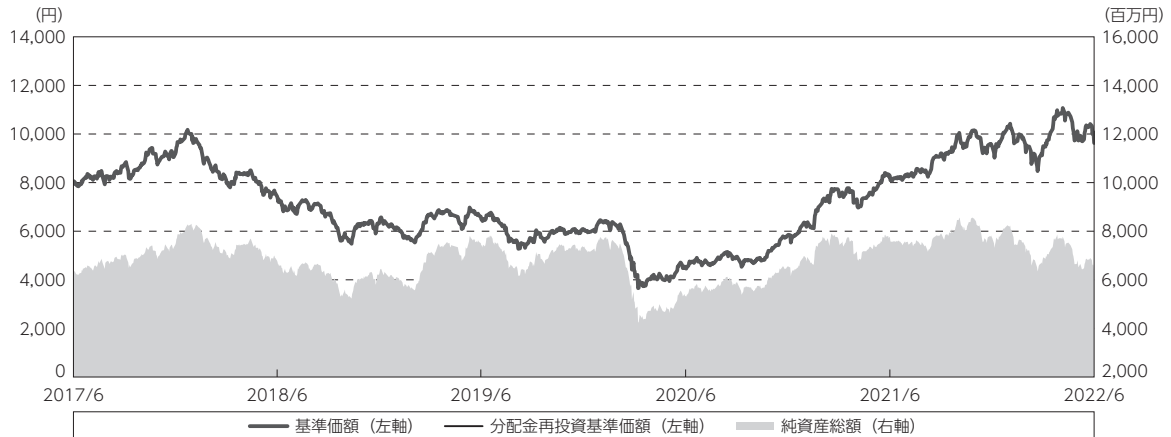
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2017年6月19日～2022年6月17日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2017年6月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年6月19日 決算日	2018年6月18日 決算日	2019年6月17日 決算日	2020年6月17日 決算日	2021年6月17日 決算日	2022年6月17日 決算日
基準価額 (円)	7,952	7,429	6,599	4,481	8,269	9,630
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	60
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 6.6	△ 11.2	△ 32.1	84.5	17.2
純資産総額 (百万円)	6,287	6,782	7,507	5,333	7,749	6,318

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境について

【株式市況】

当期のインド株式市場では、SENSEX指数が前期末比で1.9%下落しました。株式市場は、期初から2021年7月下旬までは上下動を繰り返す方向感に欠けた値動きとなったのち、10月中旬にかけてインドにおける新型コロナウイルスの新規感染者数の大幅な減少、経済活動規制の緩和などを背景に上昇傾向となりました。株式市場は、12月中旬にかけてインド株式に割高感が出てきたこと、新型コロナウイルスの新たな変異株への警戒感などから下落傾向に転じたものの、2022年1月中旬にかけて比較的堅調なインドの企業業績などから反発しました。その後、3月上旬にかけては、地政学的緊張の高まり、米国の早期金融引き締め観測を背景に、途中上下動を見せながらも下落傾向に転じました。株式市場は、4月上旬にかけて新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国内での規制が緩和されたことなどから値を戻す動きとなったのち、期末にかけて途中上下動を見せながらも下落傾向となりました。原油高などに伴う国内でのインフレ懸念と利上げの開始、米国での積極的な利上げ観測の拡大などが相場の重しとなりました。

【為替相場】

当期のインドルピーは円に対して前期末比で16.6%上昇しました。インドルピーは対円で、期初から2022年3月上旬まで一定範囲内で推移していましたが、その後、期末にかけては途中上下動を見せながらも上昇傾向に転じました。日米金利差の急拡大などに伴う急速な米ドル高・円安進行の流れを受けたことなどが上昇要因となりました。

原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は期首・期末の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

<HSBC インド・インフラ株式オープン>

「HSBC インド・インフラ株式マザーファンド」への投資を通じて、主にインドのインフラに関連する株式等に投資しました。

<HSBC インド・インフラ株式マザーファンド>

資本財、素材、公益事業セクターに8割程度を投資しました。個別銘柄では、資本財業界で建設エンジニアリング大手のラーセン・アンド・トゥブロー、エネルギーのリライアンス・インダストリーズ、運輸業界で港湾運営会社のアダニ・ポーツ・アンド・スペシャル・エコノミック・ゾーン、運輸業界で鉄道貨物輸送会社のインド・コンテナ、素材業界で鉄鋼大手のジングル・スチール・アンド・パワーなどを上位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、60円（1万口当たり・税込み）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第13期
	2021年6月18日～ 2022年6月17日
当期分配金	60
（対基準価額比率）	0.619%
当期の収益	60
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	3,275

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針◆

構造改革などを通じて中期的に堅調なインドの経済成長が期待出来ることは、株式市場にとり支援材料と考えられます。また、設備投資の持ち直しや融資の回復も同国経済、ひいては株式市場にとり追い風になると思われれます。但し、やや高水準にあるバリュエーション、金利上昇などが株式市場に影を落とすこともあり得ると考えられます。さらに、原油高にともなう国内経済および企業収益への影響にも注視が必要と言えます。

モディ政権はインフラ整備に重点を置いており、2024年度（2024年4月～2025年3月）までに100兆ルピー（約170兆円）規模のインフラ投資を行う計画を公表しています。マザーファンドの投資対象である資本財、エネルギー、素材、金融、不動産などのインフラ関連銘柄は、政府の推進するインフラ整備から恩恵を受けることが見込まれます。

<H S B C インド・インフラ株式オープン>

「H S B C インド・インフラ株式マザーファンド」への投資を通じて、主にインドのインフラに関連する株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<H S B C インド・インフラ株式マザーファンド>

道路、鉄道、港湾、空港、灌漑（かんがい）、電力、通信、公共住宅等、インド経済発展のために不可欠なインフラ（社会基盤）に関連する企業の中で、中長期的観点から株価の上昇余地が見込めるものを選別し、ポートフォリオを構築していきます。

◆お知らせ◆

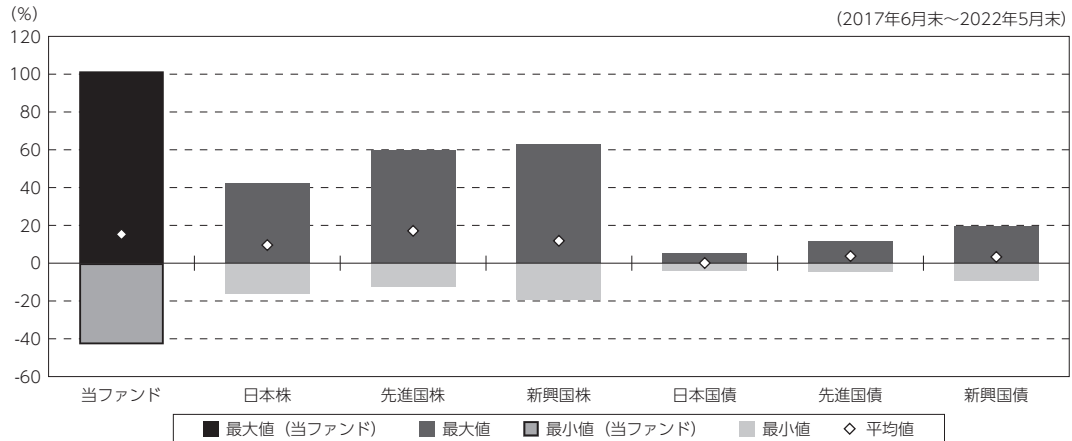
商号変更について

H S B C 投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「H S B C アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	H S B C インド・インフラ株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にインドのインフラに関連する株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	H S B C インド・インフラ株式オープン	H S B C インド・インフラ株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	H S B C インド・インフラ株式マザーファンド	主にインドのインフラに関連する株式等に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ H S B C インド・インフラ株式マザーファンドへの投資を通じて、インドのインフラに関連する株式の中から銘柄を厳選しポートフォリオを構築します。 ・ 株式の実質組入比率は、原則として高位に維持します。 ・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	<p>年1回の決算時（毎年6月17日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	101.5	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 42.9	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 4.5	△ 9.4
平均値	15.3	9.6	17.1	11.8	0.1	3.7	3.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年6月から2022年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

(2022年6月17日現在)

当ファンドの組入資産の内容

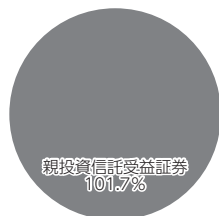
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第13期末
H S B C インド・インフラ株式マザーファンド	% 101.7
組入銘柄数	1銘柄

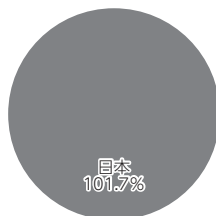
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

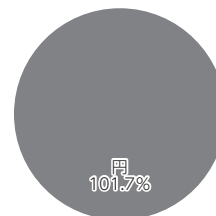
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

○純資産等

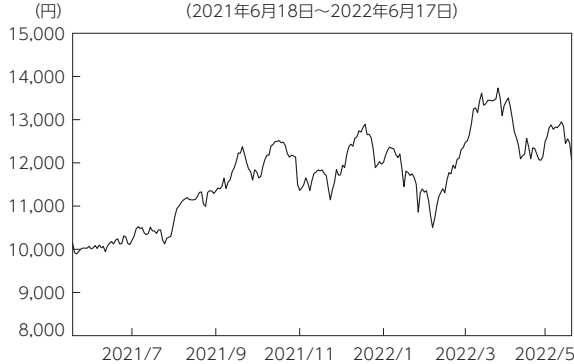
項 目	第13期末
	2022年6月17日
純 資 産 総 額	6,318,935,063円
受 益 権 総 口 数	6,561,829,575口
1万口当たり基準価額	9,630円

(注) 期中における追加設定元本額は2,121,611,944円、同解約元本額は4,931,129,040円です。

組入上位ファンドの概要

◆ H S B C インド・インフラ株式マザーファンド (計算期間 2021年6月18日～2022年6月17日)

○ 基準価額の推移



○ 1万口当たりの費用明細

(2021年6月18日～2022年6月17日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	21 (21)	0.180 (0.180)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	154 (20) (134)	1.326 (0.170) (1.156)
合 計	175	1.506

期中の平均基準価額は、11,579円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
(注) 「(b) その他費用」の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益にかかるキャピタル・ゲイン課税(1万口当たり134円)を含みます。

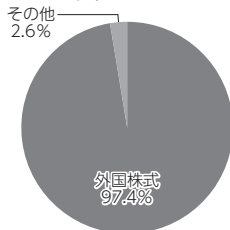
○ 組入上位10銘柄

(2022年6月17日現在)

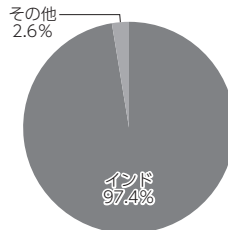
銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1 RELIANCE INDUSTRIES LIMITED	エネルギー	インドルピー	インド	9.6%
2 LARSEN & TOUBRO LIMITED	資本財	インドルピー	インド	9.2%
3 NTPC LIMITED	公益事業	インドルピー	インド	5.0%
4 ADANI PORT AND SPECIAL ECONOMIC ZONE	運輸	インドルピー	インド	4.6%
5 CONTAINER CORP OF INDIA LTD	運輸	インドルピー	インド	4.1%
6 POWER GRID CORP OF INDIA LTD	公益事業	インドルピー	インド	4.1%
7 KEI INDUSTRIES LIMITED	資本財	インドルピー	インド	3.6%
8 BHARTI AIRTEL LIMITED	電気通信サービス	インドルピー	インド	3.5%
9 ASHOK LEYLAND LIMITED	資本財	インドルピー	インド	3.5%
10 JINDAL STEEL & POWER LTD	素材	インドルピー	インド	3.3%
組入銘柄数			31銘柄	

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

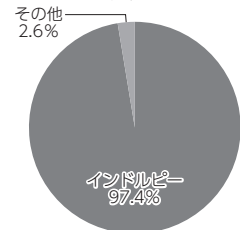
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

◆指数に関して◆

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。